

気になることがあったら、普段の様子をよく知っているかかりつけ医に相談しましょう。
かかりつけ医がいない場合は下段を参考に、相談できる医療機関を探しましょう。

認知症の相談ができる病院（市外は近隣から抜粋）

予約が必要な場合もありますので、受診前に必ず病院にお問い合わせください。

市内	医療機関名	住 所	電 話
	千葉新都市ラーバンククリニック	草深138	0476-40-7711
	日本医科大学千葉北総病院・物忘れ外来	鎌苅1715	0476-99-0413
	千葉ニュータウンクリニック	内野1-5-1	0476-46-4744
	安孫子内科・胃腸科クリニック	大森3417-2	0476-42-2649
	牧の原いとうクリニック	原4-1	0476-47-5011
	めぐみこころのクリニック	原1-2 ビッグホップガーデンモール印西	0476-37-7522
	すずき小倉台医院	小倉台4-12	0476-47-3766
	ラーバン駅前クリニック	中央北2-1-3	0476-36-5196
市外	北総メンタルクリニック	中央北1-1 APOLLO PLANT MALL 2 階	電話不可（HP参照）
	東京慈恵医科大学附属柏病院・精神神経科	柏市柏下163-1	04-7164-1111
	北柏リハビリ総合病院	柏下265	04-7169-8000
	聖隷佐倉市民病院・神経内科	佐倉市江原台2-36-2	043-486-1155
	東邦大学医療センター佐倉病院・物忘れ外来	佐倉市下志津564-1	043-462-8811
	ふじホームクリニック	八千代市勝田台2-43-1	050-5318-6480
	八千代有床診療所	八千代市緑が丘西3-13-21	047-411-6020
	鎌ヶ谷総合病院	鎌ヶ谷市初富929-6	047-498-8111
	千葉白井病院・脳神経外科	白井市復1439-2	047-497-6800

認知症疾患医療センター

認知症についての専門医療相談、鑑別診断と認知症に伴う行動及び心理症状への初期対応、合併症への対応などを行う医療機関です。

予約が必要な場合もありますので、受診前に必ず病院にお問い合わせください。

医療機関名	住 所	電 話
日本医科大学千葉北総病院	鎌苅1715	0476-99-0413
八千代病院	八千代市下高野549	047-488-2071

(千葉県ホームページより近隣のみ抜粋)

[illegible]

物忘れがひどい方は、自分が何かおかしい」と気づいています。これからどうなるのだろう？と不安でいっぱいです。そのような時に「物忘れがひどい」と言われたら、その不安をかき消すために「ぼけてない！」と言い張るしかないのです。周りの人が、本人の気持ちをわかった上で、「心配している」ことを心を込めて説明し、根気よく受診をすすめてください。「最近健康診断に行けていないから、元気でいるために診てもらおう」「私が調子悪いから、一緒に受診に付き合ってください」と言って誘ってみます。医療機関には、「認知症のことを相談したい」と事前に伝えておくとういでしょう。

地域包括支援センター

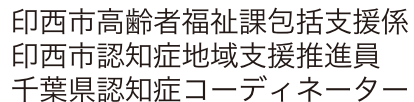
地域で暮らす高齢者の皆さまの総合相談窓口です。
すべてのセンターに、認知症地域支援推進員・千葉県認知症コーディネーターが配置されています。

名称・所在地	担当地区	電話番号
印西北部地域包括支援センター 大森2551-4	木下・木下南・竹袋・別所・宗甫・木下東・平岡・小林 小林北・小林浅間・小林大門下・大森・鹿黒・鹿黒南 亀成・発作・相嶋・浅間前・浦部・浦部村新田・白幡 浦幡新田・高西新田・小倉・和泉・牧の台	0476-85-4085
印西南部地域包括支援センター 中央南1-4-3 (コスモスパレット((中央駅前 地域交流館))パレットⅡ内)	小倉台・大塚・牧の木戸・木刈・武西学園台 戸神台・中央北・中央南・内野・原山・高花	0476-37-3120
船穂地域包括支援センター 草深924 (そうふけふれあいの里内)	武西・戸神・船尾・松崎・松崎台・結縁寺 多々羅田・草深・東の原 西の原・原・泉・泉野	0476-29-4001
印旛地域包括支援センター 美瀬1-25 (印旛支所分庁舎内)	瀬戸・山田・平賀・平賀学園台・吉高・萩原・松虫 岩戸・師戸・鎌刈・大廻・造谷・つくりや台・吉田 美瀬・舞姫・若萩	0476-33-7062
本埜地域包括支援センター 笠神2587 (本埜支所内)	中根・荒野・角田・竜腹寺・惣深新田飛地・滝・物木・笠神 行徳・川向・下曽根・中・萩埜・桜野・押付・佐野屋・和泉屋 甚兵衛・立埜原・松木・中田切・下井・長門屋・酒直ト杭 安食ト杭・将監・本埜小林・滝野・みどり台・牧の原	0476-85-4845

★印西南部および船穂は令和7年3月末に移転する予定です

その他の相談先

印西市役所高齢者福祉課 平日 8:30～17:15	介護保険の申請、介護保険料、高齢者福祉サービスについてのお問い合わせ先です。	0476-42-5111 (代表)
ちば認知症相談コールセンター 月・火・木・土 10:00～16:00	認知症介護の経験者が相談をお受けします。	043-238-7731
認知症の人と家族の会千葉県支部 月・火・木 13:00～16:00	介護についての相談、介護者の集いの紹介。	043-204-8228
千葉県若年性認知症専用相談窓口 月・水・金 9:00～15:00	若年性認知症コーディネーターが、若年性認知症に関する様々な相談をお受けします。	043-226-2601
安全運転相談ダイヤル 平日 9:00～16:00	運転に不安を感じた時の相談窓口。県警の安全相談窓口につながります。	# 8080
消費生活センター 平日 9:30～16:30	商品に対する苦情や契約をめぐるトラブルなどの相談、情報提供を行います。	0476-42-3306
印西市社会福祉協議会 平日 8:30～17:15	成年後見制度に関する相談、相談会のご案内、各地域で開催されているサロンなどのご紹介をしています。	0476-42-0294



2025年3月作成

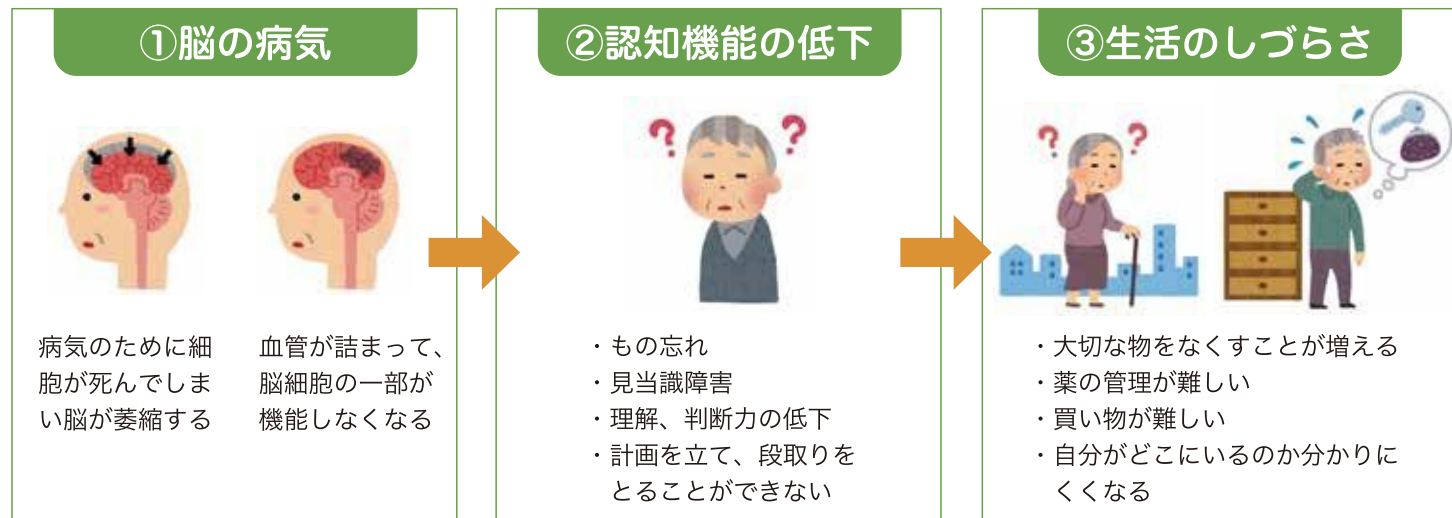


認知症ケアパスは、認知症の状態に応じて「いつ」「どこで」「どのような支援が受けられるか」などの目安を示したものです。

認知症とは

認知症は誰でもなる可能性がある身近なものです。
病などが原因で脳の細胞が壊れたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、
様々な**生活のしづらさが現れる状態**をいいます。

認知症の原因となる主な疾患には、主に「アルツハイマー病」「脳血管疾患」「レビー小体症」などがあります。

[illegible]

認知機能の低下をおこす病気には、適切に治療すれば症状が改善するものがあります。アルツハイマー型認知症などは、初期段階からの服薬と、適切な対応によって進行を緩やかにできる可能性があります。

また、早期に診断することで、家族や周りの人が症状に応じた対応方法を知ることができま
す。症状が進む前に、本人や家族がどのように暮らしたいかを、一緒に考える時間をもつことも
可能です。

気になることがあったら、早めに相談することをおすすめします。



症状の変化		健康		あれ？物忘れかな		そろそろ誰かの見守りが必要		日常生活に手助けが必要		常に手助けが必要			
本人の様子や症状		●なんとなくおかしいと感じて不安になる (例)頭に霧がかかったような気がする… 気分が落ち込む		●約束を忘れたことがある ●趣味や好きなテレビ番組に関心がなくなってきた ●不安や焦りがあり、怒りっぽくなる ●ものの置忘れが増えたり、いつも探し物をしている		●日にちや時間がわからなくなる ●同じことを何度も言ったり聞いたりする頻度が増える ●食事をしたことを忘れる ●同じもののばかり着ている ●ゴミ出しができなくなる ●通帳など保管場所がわからなくなる		●電話の対応や訪問者の対応が一人では難しくなる ●同じ食材を買い込む ●季節に合った服が選べない ●財布や通帳を盗られたなどの妄想がある ●家電の操作が難しくなる ●たびたび道に迷う		●トイレの場所がわからない ●質問に答えられない ●家族の顔や名前がわからなくなる ●洋服の着方がわからない ●外出すると家に戻れなくなる		●表情が乏しくなる ●自分で食事ができなくなる ●誤嚥や肺炎を起こしやすい ●言葉によるコミュニケーションが難しい ●便や尿の失禁が増える	
やっておきたいこと 決めておきたいこと		■友人や地域とのつながりを大切にしましょう ■今までやってきた地域活動やサークル、ボランティアなどをやめずに続けましょう ■認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどで認知症に関する正しい理解を深めておきましょう		■周りの人や地域包括支援センターに相談しましょう ■かかりつけ医に相談しましょう ■外出の機会をもちましょう ■本人の話をじっくり聞きましょう ■本人の不安に寄り添いながら、さりげなく手助けをしましょう		■できないことや間違いがあっても、責めたり否定したりしないようにしましょう ■火の不始末や道に迷うなどの事故に備えて安全対策を考えておきましょう ■一人で悩みを抱え込まず、身近に相談できる人をみつけておきましょう ■今まで通り、外出したり人に会う機会を持ちましょう ■今後の生活設計についても考えておきましょう ■将来に備えて成年後見制度等の利用について検討しましょう		■本人の「できること」「好きなこと」を活かし、その人らしい生活を送っていく方法を考えていきましょう ■食事、排せつ、入浴などの日常生活動作が上手にできなくなり、介助が必要になることを理解しましょう ■介護サービスや医療サービスを利用して介護を一人で抱え込まないようにしましょう ■施設での生活を希望する場合は、早めにつかみ見学しておきましょう ■医療ケアが必要になったり、動けなくなってきたときに、どこでどのように過ごすのか話し合っておきましょう					
認知症の人や家族を支援する体制	相談	地域包括支援センター（詳細は裏面参照）千葉県若年性認知症専用相談窓口（043-223-2601）ちば認知症相談コールセンター（043-238-7731）											
	家族支援	認知症カフェ・オレンジカフェ（0476-33-4593）認知症のひとと家族の会千葉県支部（043-204-8228）											
	介護予防	いんざい健康ちょきん運動（0476-33-4593）											
		認知症予防出前講座 はじめよう！脳活問題集 介護予防教室											
		介護支援ボランティア											
	他者との つながり支援	認知症カフェ・オレンジカフェ（0476-33-4593）											
		いんざい健康ちょきん運動（0476-33-4593） 高齢者クラブ ふれあいサロン ふれあい給食 老人福祉センター 老人憩いの家											
		シルバー人材センター（0476-29-4468） 高齢者就労支援センター（0476-33-7585）											
	安否確認 見守り	緊急通報装置サービス（0476-33-4592） 救急医療情報キット（0476-33-4592） 認知症サポーター 配食サービス											
		民生委員 印西市社会福祉協議会（0476-42-0294） 警察											
権利・財産を守る	SOSネットワーク												
	日常生活自立支援事業												
	成年後見制度 消費生活相談												
医療系支援	わたしノート（エンディングノート）												
	かかりつけ医 介護と医療サポートガイド 認知症サポート医 認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援チーム												
	通所リハビリ 訪問看護 訪問薬剤師 訪問診療 訪問歯科診療 居宅療養管理指導 訪問リハビリ 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院												
生活支援 身体介護	ゆうゆうサービス(0476-42-0294) ワンコインサービス(0476-42-0294) 外出支援サービス 配食サービス 介護用品貸出 福祉カー貸付事業												
	福祉タクシー 通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能居宅介護 通所リハビリ												
	訪問リハビリ 訪問入浴介護 訪問介護 ショートステイ 福祉用具貸与・購入 住宅改修												
住まい	サービス付き高齢者向け住宅 有料老人ホーム												
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）												
介護保険		介護保険制度の理解・申請の相談				介護認定の申請		介護サービスの利用					



印西市認知症地域支援推進員が集めた、認知症当事者と家族のこぼれ話

元気になりたい
合唱団のみんなが
待っている

ひとりでいると不安
居ても立っても
いられなくなる

直前のことを
思い出せずに
イライラしてしまう

普通の人と同じように
接してくれて
一緒に手伝いをしてくれたことが
うれしかった

友人が盆踊りの練習に
誘ってくれて、思い出しながら踊る
ことができてとても楽しかった

何度も同じことを
聞かないでと
言われ傷ついた

家族と仲良く暮らし
旅行に行きたい

体が続く限り
困っている人の
役に立ちたい



認知症とともに生きる

自分や家族が「認知症かもしれない」と思ったとき、不安な気持ちになるかもしれません。でも、認知症になっても「何もできない、何もわからない」というわけではありません。少しの助けや工夫があれば、できることはたくさんあります。やりたいことや、楽しみをあきらめる必要はありません。65歳以上の5人にひとりには認知症になる今、認知症の人もそうでない人も、みんなが役割を持ち、支えあって「認知症とともに生きる」地域を作る必要があります。